

建築を学ぶ学生へエールを込めて

～手塚貴晴・手塚由比トークイベント／ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2019 最終審査～

広島県土木建築局営繕課

昨年11月10日、「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2019」審査委員を務めていただいた建築家 手塚貴晴さん、手塚由比さんによる建築を学ぶ学生へのエールを込めたトークイベントを開催しました。

参加者の多くが学生だったこともあり、お二人からは建築家を志したきっかけをはじめ、建築家だったお父様に抱かれて模型を前に微笑む幼少期の貴晴さんのお写真、由比さんにご結婚された当時のお写真など、貴重な写真を交えながらご披露いただきました。写真を選ぶお二人の姿が仲睦まじく、大変印象的でした。

トークイベント後は、全国の建築学生を対象とした「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2019」の最終審査を開催しました。今年度で7回目を迎えたコンペの対象建築物は、縮景園（広島市中区上幟町）にある公衆トイレ。全63作品の中から1次審査を通過した7作品の公開プレゼンテーションを実施し、会場は多くの聴講者が見守る中、張

り詰めた緊張感と熱気に包まれました。

公開審査では、手塚貴晴委員長の急遽のご提案で、スマートフォンのカメラ機能を活用し、模型をスクリーンに映しながら審査を行いました。審査委員同士の掛け合いに、一喜一憂する学生でしたが、どの作品が最優秀となるのか、最後の最後までわからない展開に、事務局も手に汗握る瞬間の数々でした。

審査の後半は、最優秀作品賞候補の学生と手塚委員長との質疑応答が繰り広げられました。最終的には学生の覚悟を決めた一言、「(周りの方の意見を)聞きます！」により、無事最優秀作品が決定しました。

現在実施設計を進めており、令和2年(2020)度末に完成する予定です。

提案の実現に向け、これからは私たちが「チャレンジ」する番です。



和やかな雰囲気の中でお二人のトークがさく裂。お二人の掛け合いが微笑ましい。



ホール前の模型展示
多くの学生が模型を食い入るように見つめていた。

公開プレゼンテーション
高さ2メートル近いモップアップを持ち込み、熱い提案が行われた。

公開プレゼンテーション
審査委員から鋭い質問が飛ぶ。

公開審査
審査委員は付箋を手に、上位に推したい作品の模型に付箋を貼る。



公開審査
スマートフォンで模型を撮影しながら審査が進む。

公開審査
手塚委員長からの厳しい問い詰めに学生は覚悟を決めた。

表彰式
入選者には、手塚委員長から賞状が授与された。

表彰式
長時間にわたり、プレゼン・審査いただきありがとうございました。



表紙写真について

広島平和記念資料館本館

- 設計 計／公益財団法人文化財建造物保存技術協会
- 監理 理／株式会社山下設計
- 施工 工 築／株式会社大林組広島支店
- 電気設備 株式会社長沼電業社
- 冷暖房・空調・衛生設備 株式会社九電工中国支社
- 所在地 広島市中区中島町1番地1
- 用途 展示場
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 3階建て
- 敷地面積 71,900.00㎡
- 建築面積 1,409.34㎡
- 延床面積 1,614.94㎡
- 竣工日 令和元年10月24日

「広島平和記念資料館本館」は、昭和24年(1949)8月6日公布の広島平和記念都市建設法に基づく平和記念施設の中心として、被爆資料の展示を通して被爆の実相を伝え、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与することを目的に建設された。

設計は同年に実施された「広島市平和記念公園及び記念館設計懸賞募集」で一等入選した丹下健三ら四名の案を基に、丹下健三(丹下健三計画研究室・東京大学建築学教室)が実施設計を手掛け、工事は昭和26年(1951)2月に着工され、その後、昭和30年(1955)3月に工事が再開され、同年8月24日の開館に至った。

建設後60年以上経過しており、耐震診断の結果、全体に耐力不足であり、保有する耐力の増加、もしくは入力地震動を低減させる、地震エネルギーの入力を吸収する工法と併用して補強が必要であると判定されたことから、重要文化財である平和記念資料館のもつ意匠的な価値を保存するため、耐震補強として免震補強を採用した。



CONTENTS

表紙写真について	2
年頭のご挨拶	3
第63回建築士会全国大会広島大会 ブース出展企業を募集しています!!	4
カー交流会を開催しました	5
美味しいけんちく⑫	5
「第17回ひろしま街づくりデザイン賞」募集を開始しました	6
CPD認定プログラム(1~2月の広島県内実施分)	6
第36回呉建築セミナー「自走する構想」	7

作品紹介 掲載作品の会員紹介	9
早瀬庵(広島支部)	10
じあん眼科 診療所(呉地区支部)	11
社会福祉法人こぶしの村福祉会 草笛学園(福山支部)	12
K邸(尾道支部)	13
賛助会員紹介	14
建築を学ぶ学生へエールを込めて	16

年頭のご挨拶

元気じゃけん! ひろしま 新しい時代へものがたりをつなごう

(公社)広島県建築士会 会長
元廣 清志



年頭にあたり会員の皆様にご挨拶申し上げます。日頃から(公社)広島県建築士会へのご支援をいただき心よりお礼申し上げます。本年もより一層のご支援、ご協力を賜ります様心よりお願い申し上げます。

広島県建築士会では、会員への情報提供や研修、交流、親睦などの行事による会員活動はもとより、広く全ての建築士の自律的管理や、建築や建築士の職能についての情報開示、伝達する責務、建築やまちづくりに関すること等について、専門領域から情報発信を行うなどの公益的の事業活動にも力点を置いて活動してまいりました。

一昨年の西日本豪雨災害に続いて、昨年は、全国的な台風被害にみまわれました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。県内でも、今なお災害の復旧復興に取り組まれていることを思いますと、重ねてお見舞いを申し上げます。年々災害は激しさを増している様にも思われ、災害に強いまちづくり、防災への対応の取り組みが急がれることを痛感いたします。加えて、今日の社会状況は、人口減少、社会構造の変化、経済活動、県民意識の変化などによる生活スタイルの変化が引き起こす技術者不足、労働者人口の減少など多くの問題が発生しています。この構造的変化による新たな課題に、個人、地域社会、団体などあらゆる立場で、対応する事が迫られています。

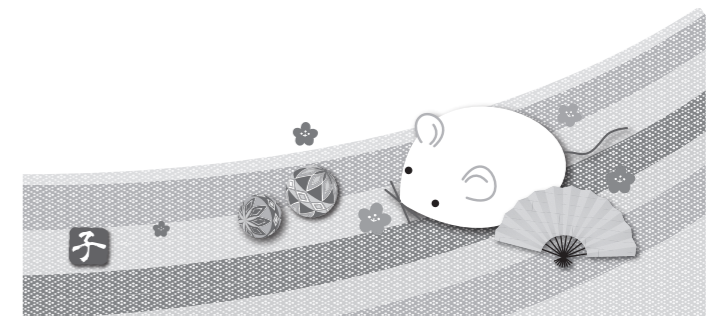
元号は令和と新しい時代を迎え、2020年は、東京オリンピック開催の年であります。盛会な大会となる事を願っています。

そうした中で、私達建築士は、技術力の向上と、技術者の養成などに努め、時代に合った住みやすいまちづくりや、コミュニティの維持再生に努力し、社会への貢献を果たさなければならないと考えています。

建築士会では、今後のまちづくりのあり方と防災/歴史(景観)/福祉/街中/木造まちづくりなど、連合会で検討を進め、県内でも各自治体へ協力しながら実践を果している処です。今後、士会として取り組まなければならない事として、まちづくりに関心を持った建築士等の人材育成、自治体へのまちづくりに対する協力や情報の共有、改革提言など自治体と共同して連携を図り、まちづくり関係建築士に対する支援活動も進めていく処です。国の施策と連動しながら今後の社会づくりの為に大なる目標にしていく事が求められています。

本年は、第63回建築士会全国大会広島大会を11月13日~15日、広島市を中心に全県内で開催します。建築士の皆様のご協力と、多くのご参加を得て、盛大な大会となる様願っています。「元気じゃけん! ひろしま—新しい時代へものがたりをつなごう—」をテーマとして取り組みます。全国の建築士の皆様をお迎えし、喜んでいただき、共に楽しむ大会としたいと考えています。

今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。本年が皆様にとって素晴らしい1年となります様念じて年頭のごあいさつとします。



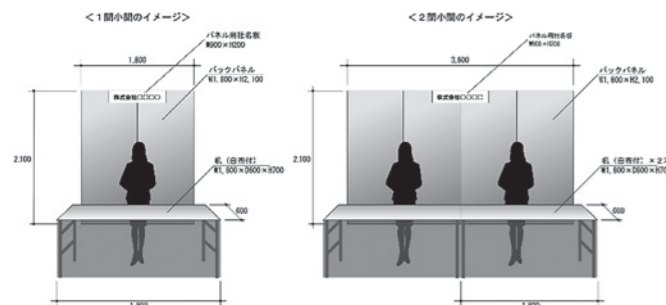
第63回建築士会全国大会広島大会 ブース出展企業を募集しています!!

令和2年11月13日～15日の3日間、建築士会全国大会を広島市において開催します。広島での全国大会は、昭和41年(1966年)以来54年ぶりで、大会式典を開催する11月14日(土)には、企業展示ブースの設置を計画しています。

つきましては、地元の関係団体をはじめ、数多くの企業の方々に出展をしていただきたく、下記の要領で幅広く募集をしております。

【展示出展要項】

開催日時 令和2年年11月14日(土) 10:00～17:00
 大会会場 広島グリーンアリーナ(大アリーナ)
 小間仕様 1小間/幅1.8m×奥行1.8m ¥100,000
 2小間/幅3.6m×奥行1.8m ¥150,000
 詳細については、建築士会事務局にご連絡ください。
 要綱書をお送りします。



【募集期間】

令和2年1月15日～3月16日

【問合せ先】

第63回建築士会全国大会広島大会実行委員会
 財務部会部会長 井本 健一
 副部会長 神岡 千春
 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
 (公社)広島県建築士会事務局
 電話 082-244-6830(代)
 E-mail zenkokutai@k-hiroshima.or.jp

大会の概要

- 1) テーマ: 元気じゃけん!ひろしま
新しい時代へ ものがたりをつなごう
- 2) 会場: 広島グリーンアリーナ 他
- 3) 主催: 公益社団法人日本建築士会連合会
- 4) 共催: 中国四国建築士会ブロック会
- 5) 主管: 公益社団法人広島県建築士会
- 6) 後援: 国土交通省(予定)、広島県、広島市
- 7) 参加者: 4,000人(予定)



カート交流会を開催しました

交流厚生委員長 井手口 耕三

10月22日(火祝)AM11:00より「スポーツランドタマダ」においてカート交流会を開催しました。当日は天候にも恵まれ総勢62名の参加者がカートとパーベキューを楽しみました。受付後、カートを運転する上での注意の説明を受けその後、7つのグループに分かれて

順番にカートを体験しました。慣れるまでは慎重に走行しておりましたが、徐々にコツをつかむとコーナーでもスピードを落とさずに回られていました。

その後、ジムカーナの走行体験をさせて頂きました。公道ではできないような運転を目の前で見学し、同乗されていた参加者の方も大変喜ばれておられました。



午後よりは各支部ごとに分かれてレースを行いました。今回は徳島県建築士会青年部の方々が広島県の交流行事の視察で参加されました。

午後3時に表彰式を行い閉会となりました。個人の部優勝は、東広島支部 福光さん、2位 東広島支部 石竹さん、3位 県北支部 田端さん。団体の部は、優勝 福山・徳島チーム、2位 尾道・三原・県北チーム、3位 東広島・呉チームでした。

支部対抗ボウリング大会は令和2年2月8日(土)にマリノボウルにて開催します。多くの参加者をお待ちしております。今後ともよろしくお願ひします。



美味しいけんちく

12

フランス職人が焼く絶品パン屋さん

東広島支部 柳河 元木

ブーランジェリー・ラパンは2005年にオープンした、酒のまち、広島県東広島市にあるパン屋(=ブーランジェリー)です。



朝食に、昼食に、おやつに、夕食に。パリ郊外にあるヴィリー=シャティオン出身のルメ・パトリックが、『毎日食べたいパン』をテーマに、私たち自身が毎日食べたくなるよう、素材や安全、そしておいしさにこだわりを持って焼き上げています。

2017年には御園宇店(2号店)がオープンしました。広島市内でもラパンのパンをお買い求めいただけます!広島三越さんがおすすめるパン屋さんの日替わりで登場する7days Boulangerie. ラパンも木曜日に出店しています。

オーナーと奥様が気さくで明るいお店です。東広島では大人気パン屋さんで、いつ行ってもお客さんがいっぱいです。イトインコーナーもあるので一度食べてみてください。



Lumet Patrick.

1971年、フランス郊外にあるヴィリー=シャティオンに生まれる。16歳から見習いをはじめ、ブーランジェリー人生がスタート。1992年21歳で来日。経験を積み、2005年にブーランジェリー・ラパン寺家店、そして2017年には2号店である御園宇店オープン。日本アンバサドル協会理事。専門学校にて講師も務める。

ブーランジェリー・ラパン 御園宇店

住所: 東広島市西条町御園宇 8521-1
 電話番号: 082-426-4460
 営業時間: AM6:00～PM6:00
 定休日: 月曜日

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- すまい給付金関連業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(違法性調査等)
- 登録住宅性能評価機関
- 長期優良住宅認定審査業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務



株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
 TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201
 支店: 東京 事務所: 福岡
 e-mail: mail@jesupport.jp

「第17回ひろしま街づくりデザイン賞」募集を開始しました

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係

広島市では、魅力ある街づくりを進めるために、街並みや自然への配慮がなされ、良好な景観の形成に貢献している建築物や広告、活動などを募集し、優れたものを表彰する「ひろしま街づくりデザイン賞」を実施しています。

平成6年度に始まったこの賞の17回目の募集を現在行っています。

賞には建築物（一般）や個人住宅など、7つの部門及び街づくり提案賞があり、自薦、他薦を問わず広く募集していますので、ふるってご応募ください。



前回は賞を受賞した「EKICITY HIROSHIMA」
(設計者：戸田建設・アール・アイ・エー設計企業体)

【応募区分】

◎部門賞（建築物（一般）／個人住宅／アート／広告
花と緑／街並み／景観まちづくり活動）

◎街づくり提案賞

【募集期間】

令和2年2月29日（土）まで（当日消印有効）
（街づくり提案賞のみ令和2年3月15日（日）まで）

【応募対象】

広島市内で良好な景観の形成に貢献しているもの。
ただし、法令などに適合していないもの、公共施設、これまでにひろしま街づくりデザイン賞を受賞したもの（受賞した部門以外への応募は可）を除きます。

【応募方法】

応募用紙に必要事項を記入の上、電子メール、郵送又は持参にてご応募ください。

（メールアドレス：urban-d@city.hiroshima.lg.jp）

（送付先：〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号）

【選考・表彰】

選考結果発表・表彰は、令和2年秋期頃の予定です。

※ひろしま街づくりデザイン賞の詳細は、広島市ホームページをご覧ください。

CPD 認定プログラム(1～2月の広島県内実施分)

2019年12月10日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
1/23	『機械設備工事監理指針 令和元年版』講習会	5	公共建築協会	03-3523-0381
1/24	『電気設備工事監理指針 令和元年版』講習会	6	公共建築協会	03-3523-0381
1/25	住宅講演会「素材・木をデザインする」ー木の納まりー	2	広島県建築士会	082-244-6830
1/31	建設業スキルアップセミナー【A午前コース 3ユニット コミュニケーション力の高め方 生産性向上セミナー】	3	建設情報化協議会	03-6869-0586
1/31	建設業スキルアップセミナー【C終日コース 6ユニット コミュニケーション力の高め方・生産性向上・調達力向上・技術提案書作成セミナー】	6	建設情報化協議会	03-6869-0586
1/31	建設業スキルアップセミナー【B午後コース 3ユニット 運力(購買力)の強化方法 技術提案書作成のポイントセミナー】	3	建設情報化協議会	03-6869-0586
2/1	令和元年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会⑩	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/5	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-05)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/6	『建築工事監理指針 令和元年版(上巻、下巻)』講習会	5	公共建築協会	03-3523-0381
2/13	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/15	令和元年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会④	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/17	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《空調1》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770
2/18	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《空調2》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770
2/19	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《法規(空調・衛生)》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770
2/19	【構造塾】広島3年目⑯	3	構造塾	045-534-8754
2/20	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《衛生1》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770
2/20	未来を拓く建設技術者～8つの管理とコミュニケーション～	6	インターウェーブ	099-812-0677
2/25	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《電気1》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770
2/26	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《電気2》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770
2/27	「基礎から学ぶ 設備設計実務講座」(広島)《法規(電気)》	6	建築設備技術者協会	082-244-1770

第36回呉建築セミナー「自走する構想」

呉地区支部事業委員会 武内 盟子

2019年11月6日（水）、第36回呉建築セミナーをつばき会館音楽ホールで開催しました。

今回は、遠藤克彦先生をお招きして「自走する構想」という演題でお話をいただきました。

遠藤先生は1970年横浜生まれ。東大大学院では原広司研究室に在籍され、修士から博士課程に進まれた年に原先生が退官されたこともあって遠藤建築研究所を設立。学業との両立の中、事務所に専念するため大学院を退学されたことから、就職の経験はないそうです。



遠藤克彦先生

原研究室での最初の課題は、「地球外建築」。

宇宙空間で建物らしきものを創り出すためにはどうしたら良いか。建築に必要な水や食料、建築材料をロケットで打ち上げるには、莫大なコスト(2,000万円/g)がかかり、水も貴金属と等価になってしまう。そこから得た「建築はそのものの価値だけではなく、それがどのような効果をもたらすが大きな意味を持つ」という結論は、現在の仕事にも生かされているそうです。

2003年頃までは別荘の仕事が多く、その際の「環境」と戦うコンセプトは後の設計にも取り入れられています。2005年からは大規模建築のプロポーザルに取り組み、応募総数は86本、その中で勝ち取ったのは、公共5本、民間2本の計7本だそうです。

常にプロポーザルにアタックし続けるエネルギー。先生だけでなく事務所のスタッフの皆さんも、とても生き生きと働いていらっしゃいます。まさに今、旬の「ONE TEAM」だと感じました。

先生は、建築は宝石のような形の勝負ではなく、何かを解決するためのものであり、解決していくことにより建築形態ができてくる、と考えておられるそうです。

2018年の茨城県大子町の新庁舎のプロポーザルでは、人口3,600人の町の駅前の衰退、若者の居場所、人々の回遊等々、問題点を入念に調査し、その解決に向けた提案により最優秀となりました。

設計に入ってから、町内の古民家を改修し、学生や町民が自由に出入りできるコミュニティスペースを備えたおしゃれな事務所を作られました。ワークショップやコミュニティスペースでの意見を取り入れ、1階フロアは町民の食事スペースやヨガスペース、図書館機能も持たせ、将来的にもフレキシブルに対応可能な、通り抜けできる余白空間としたそうです。

ところが、昨年10月の台風19号の大雨で、庁舎建設予定地が接する2つの川が氾濫し、敷地周囲が3メートル余りも浸水する被害が発生しました。庁舎自体は難を免れる構造になっていますが、周囲の浸水で庁舎に近づけない状態になることがわかり、現在、建設地を含めた見直し作業の最中との事です。

同時進行中の中之島美術館のコンペはその前年の2017年で、昨年3月に着工し、現在建築中です。

このコンペでは、先生が経費を負担して、インターシップの学生さん6人と大阪まで調査に行かれたそうです。スタッフ製作分を含め40作品が作られた模型は、その中から良いものを選ぶのではなく、一つ一つを検討し、取り入れたいものかどうかを見極めて行かれたそうです。完成度の高すぎるコンペ案は、設計途中で身動きが取れなくなるので勝てないのだそうです。

こうして今回選ばれた案は、シンプルな箱の外観から、おもちゃのジェンガのように引き算してパブリックスペース等を作るという手法を取られたそうで、その中から、必然的に外観ができたということだそうです。

かつて中之島には各藩の藩屋敷が立ち並び、各藩屋敷にあった「舟入」と呼ばれる船溜まりの遺構が今も残っており、美術館はその遺構を保存しながら建設する計画だそうです。中之島美術館の敷地はなんと、広島藩の藩屋敷跡だったそうです。

先生はまもなく50歳ですが、これからもどんどんプロポーザルに挑戦され、ますます躍進されご活躍される事と思います。来場された学生さん達も、やる気スイッチが入ったのではないのでしょうか。

次回もたくさんの方のご来場をお待ちしています。



安全で安心な住まいづくりを 私たちがサポートします!



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、
銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、
多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

株式会社 広島建築住宅センター

業務内容

- 建築確認・検査
- 住宅性能評価
- フラット35
- 長期優良住宅
- 低炭素建築物
- 住宅かし担保責任保険
- 省エネ関連業務
- すまい給付金サポート
- リフォーム評価ナビ
- 地域型住宅グリーン化事業
- ベターリビングリフォーム審査業務

(株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
E-mail info@hkjc.co.jp

福山営業所

〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp

ホームページ <http://www.hkjc.co.jp>

作品紹介 掲載作品の会員紹介

早瀬庵

広島支部

奥本 卓也 (東京建築士会)

弊社はこれまで全国LVL協会のLVLを用いた構法の開発に参画してきた他に、近年注目されているCLTを用いた建築設計にも携わり、都市木造の分野での先端的な知見を有しています。今回掲載される作品はその最新のアウトプットでもあります。

有限会社 ビルディングランドスケープ一級建築士事務所

〒171-0033 東京都豊島区高田3-17-4
TEL 03-5954-7633
URL <https://www.buildinglandscape.com/>
E-mail ok@buildinglandscape.com



じあん眼科 診療所

呉地区支部

山中 靖彦

大手ゼネコン退職後、昭和61年に設計事務所を開設し、主に木造の個人住宅を中心に設計監理の業務に携わってきました。店舗・工場・医療機関の物件も手掛け、建築主とは融資の相談を含め無理の無い計画を提案する事を第一にするも、より良く希望を取り入れられるようコミュニケーションを大切にする事を心掛けています。

YA企画

〒737-0141 呉市広大新開2丁目22-43
TEL 0823-74-0445 FAX 0823-74-0429
E-mail yama-s33@titan.ocn.ne.jp



社会福祉法人こぶしの村福祉会 草笛学園

福山支部

藤井 太郎

昭和27年に創業し、福山を中心に福祉・学校・工場・住宅・公共施設の設計・監理を行っています。
自然を利用しての省エネ・過ごしやすさに配慮した設計を心がけています。

原設計株式会社

〒720-0805 福山市御門町1-12-15
TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
E-mail hara_a@feel.ocn.ne.jp



K邸

尾道支部

小西 郁吉

尾道で昭和33年に設計事務所を開設し、地域に愛される設計事務所を目指して頑張っております。
建築は住宅に始まり住宅に終わると言われています。それは、住宅設計が最も建築士の力量が試される難しい仕事だからです。家族によって生活スタイルは違い、建てる場所によって環境条件は異なります。人生の「快」を考え、明るく風通しがよく、年が経つごとに愛着が募る住まいを共に建てていきましょう。その時には、私たちの知識と経験がきっと役立ちます。

株式会社 小西建築設計事務所

〒722-0035 尾道市土堂二丁目8番11号
TEL 0848-23-4527 FAX 0848-23-5171
E-mail konia@bbbn.jp



早瀬庵

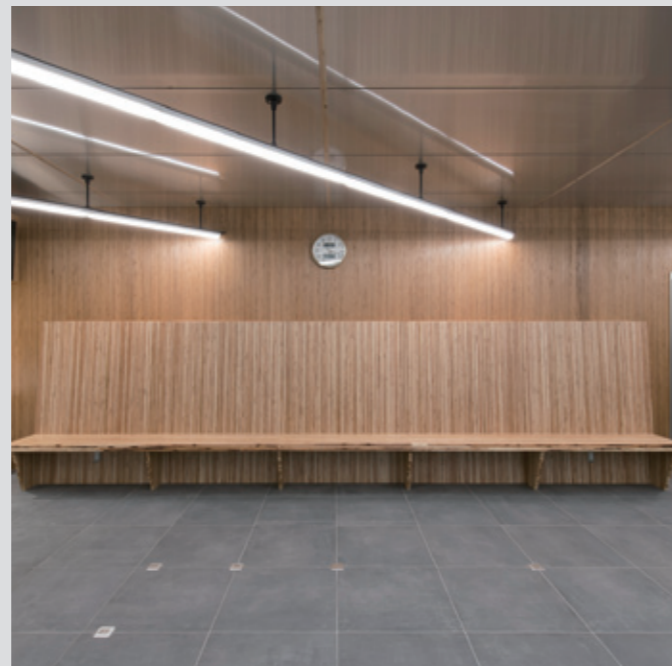
広島支部



設計監理/山代悟+ビルディングランドスケープ
 施工/五洋建設株式会社
 所在地/広島県廿日市市沖塩屋2-10-52
 用途/料理教室+茶室
 構造規模/LVL壁式構造(木造)・平屋
 延床面積/173㎡
 竣工日/2019年2月1日

新しい木質建材として注目を集める CLT 及び LVL の厚板を用いた都市木造プロジェクト。敷地は国道沿いの準工業地域に位置する。前面道路である国道にはトラック、大型トレーラーが昼夜を問わず行き交い、雑然とした風景が広がる。計画にあたっては、建築主が所有するお菓子工場と一体的な運用が可能であることを求められた。大作業への依存度の高い木造建築の現場に対する、現場作業の省力化を図る厚板木造工法のプロトタイプとしての提案。建材の純国産化、純木造化に固執せず、国産 CLT、日本企業によって育林された輸入材を原材料とする LVL を適材適所で利用し、伝統木造とは別の道を歩む都市木造としての茶室を実現した。

PHOTO: 新 良太



じあん眼科 診療所

呉地区支部



地域と繋がる診療所

地域の通院状況や年齢現況を考慮する診療を目標に開院した診療所です。建設コストの低減と用途上、70本以上ものLAN配線が必要で、竣工後のレイアウト変更や機材の増設変更に対応出来るよう、床下の配線空間が広く取れ、施工が容易な木造構造を選択しました。日帰り施術の手術室・安静室を備え、コンタクト装着室も準備している施設です。眼科の用途上、わかりやすい部屋動線配置と最小の小窓計画で暗室の確保を容易にし、内装は白を基調とし、木彫りの家具等で目に優しく落ち着いた環境を計画しました。

設計監理/YA企画
 施工/㈱神垣組
 所在地/東広島市黒瀬町兼広
 用途/眼科 診療所
 構造規模/木造 地上2階建
 延床面積/258.16㎡
 竣工日/2019年6月

社会福祉法人こぶしの村福祉会 草笛学園

福山支部



設計監理 / 原設計株式会社
 施工 / 三島産業株式会社
 所在地 / 広島県福山市加茂町下加茂909
 用途 / 児童福祉施設
 構造規模 / 鉄骨造平屋建て一部2階建て
 延床面積 / 644.75㎡
 竣工日 / 2019年7月

草笛学園は1973年に開園した児童発達支援センターで3歳児から5歳児の障害のある幼児を対象とした施設であり耐震性能及び設備の老朽化による建て替えです。

敷地に高低差があるので、児童利用部分と管理・運営部分に分け、平屋建て一部2階建てとし、平屋部に児童利用・2階建て部に管理運営のゾーニング、2階で相互が繋がる計画とした。

内装は幼児が利用するので、安全面に特に配慮し、仕上げは温かみのある天然木材を使用した。遊戯室は勾配天井とし、用途によって2室に仕切れるように計画した。

子供たちが快適、安全に活動ができ、効率的な療育支援ができるような施設で、療育環境の充実とともに家族支援、地域支援等の福祉の向上を期待します。



K邸

尾道支部



設計監理 / 株式会社小西建築設計事務所
 施工 / 株式会社堀田組
 所在地 / 広島県尾道市
 用途 / 住宅
 構造規模 / 木造2階建
 延床面積 / 252㎡
 竣工日 / 2016年12月

なだらかな坂道に戦前に建てられた三軒長屋で、それぞれ段差がある建物を改築によりバリアフリー化した。北側の前面道路の高い位置にFLを設定したために南側の庭がFLより1mほど下がったレベルになった。さらに座位置からでも南側の庭がよく見えるよう、腰壁をガラス張りとした。

平面計画では、1階を昔ながらの田の字型平面プランとし、南側に居心地の良い広縁を配置した。何百年も続いた平面形態を採用することで、今後も変わりゆく生活スタイルにも対応でき、日当たりも良く、家族が自然と集まって来られるような空間となった。2階は家族のプライベートルームとし、夫婦寝室と子供部屋とした。将来家族構成やライフスタイルが変わっても対応できるように子供部屋は間仕切りを取り外せる仕組みとした。

